

令和6年度 浦西中学校 各教科シラバス

学 年	1 年	教科名	国語
教科担当	川合雅子、大城裕樹		
教科書名	国語1（光村図書）		
副教材	・新しい国語のワーク1 ・国語活用資料集		

「シラバス」とは、各教科の授業内容や学習の方法、評価の方法などを記した総合的な学習計画のことです。浦西中学校の「シラバス」は、生徒の皆さんが1年間、何を学び、どのように学習を進めていくかを示すことで、見通しを持って、計画的・主体的に授業に取り組めることをねらいとして作成しています。

また、各教科の評価の観点点が3観点としてシラバスに示してあります。

I「知識・技能」…各教科等で、学習する過程で身に付けた知識や技能の習得状況について評価を行います。また、それらを既に身に付けている知識や技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に、概念として理解したり技能を習得したりしているかについて評価を行います。

II「思考・判断・表現」…各教科等の知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身に付けているかを評価します。

III「主体的に学習に取り組む態度」…知識や技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力を身に付けたりすることにに向けた粘り強い取り組みの中で、自ら学習を調整しようとしているかを評価します。

生徒の皆さんは、各教科の授業における「学び」が実生活とつながっているということを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得」ができるよう努力してください。さらに「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を活用する活動(思考・判断・表現等)」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「主体的に学ぶ力(=学びに向かう力)」を育成することにつながります。

1 (国語) 科の目標と評価について

教科 目標	<p>(1) 目的や場面に応じ、日常生活にかかわることなどについて構成を工夫して話す能力、話し手の意図を考えながら聞く能力、話題や方向をとらえて話し合う能力を身に付けさせるとともに、話したり聞いたりして考えをまとめようとする態度を育てる。</p> <p>(2) 目的や意図に応じ、日常生活にかかわることなどについて、構成を考えて的確に書く能力を身に付けさせるとともに、進んで文章を書いて考えをまとめようとする態度を育てる。</p> <p>(3) 目的や意図に応じ、様々な本や文章などを読み、内容や要旨を的確にとらえる能力を身に付けさせるとともに、読書を通してものの見方や考え方を広げようとする態度を育てる。</p>
評価 観点	<p>(知識・技能) ○言葉の働きに気づいたり、言葉の種類ごとの特徴について理解したりしている。○意見と根拠、具体と抽象など、情報と情報の関係について理解している。○現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知らることができる。○学習した常用漢字を読むこと、また学年別漢字配当表に記されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。</p> <p>(思考・表現・判断) ○自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫することができる。○表現の仕方や適切な資料の引用などを考え、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるよう工夫できる。○読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えることができる。○目的に応じて情報を整理しながら情報を得たり、登場人物の言動の意味について考えたりして、内容を解釈できる。</p> <p>(主体的に学習に取り組む態度) ○知識技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力を身につけたりすることに、粘り強く取り組んでいる。○粘り強い取り組みの中で、見通しを立てたり振り返ったりして、自らの学習を調整している。○言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを確かなものにしつつ、主体的に学習に取り組んでいる。</p>
方 法 評 価	<p>1 授業中の態度や参加の様子</p> <p>2 ノート・ワーク・レポート・作品などの提出物</p> <p>3 定期テスト</p> <p>4 単元テスト、小テスト、作文、スピーチ、朗読など</p>

2 (国語) 科の学習について

進 授 め 業 方 の	<p>★授業の流れは①めあての提示②課題に向き合う場面(交流)③まとめ・振り返りの流れで進めていきます。「言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力」をつけるために、(1)自分の意見を持って積極的に表現しましょう。(2)友達との交流を通して、自分の意見考えを深めましょう。(3)授業中の大事なところはメモを取り、ノートは「自分の参考書」にしましょう。(4)自分の考えを発表したり書いたりする習慣を身につけましょう。(5)読書の習慣、こまめに辞書を引く習慣を身につけましょう。</p>
----------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テ ス ト 定 期	<p>○教科書ならびに副教材を使用して学習した授業の内容を中心に出题します。</p> <p>○テストに際しては、教科書の説明で使ったプリントや資料集、デジタルコンテンツなどについても出题します。</p> <p>○「知識・技能」、「思考・判断・表現」の2つの観点に分けて出题します。</p> <p>○テスト範囲は、テストの約1週間前に連絡します。</p>
-----------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3 年間指導計画（その①）

4月	<p>①単元名(教材名) 朝のリレー</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○主体的に学習に取り組む態度</p> <p>③概ね満足な姿(B規準) 音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。</p>
	<p>①単元名(教材名) 言葉に出会うために 野原はうたう</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○主体的に学習に取り組む態度</p> <p>③概ね満足な姿(B規準) 音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。</p>
	<p>①単元名(教材名) 声を届ける 書き留める 言葉を調べる 続けてみよう</p> <p>②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿(B規準) 「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。</p>
5月	<p>①単元名(教材名) シンシュン</p> <p>②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿(B規準) 「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。</p>
	<p>①単元名(教材名) [聞く] 情報を的確に聞き取る</p> <p>②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿(B規準) 「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。「話すこと・聞くこと」において、必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめている。</p>
	<p>①単元名(教材名) 情報整理のレッスン 比較・分類</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○主体的に学習に取り組む態度</p> <p>③概ね満足な姿(B規準) 比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。</p>
	<p>①単元名(教材名) 情報を整理して書こう わかりやすく説明する</p> <p>②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿(B規準) 「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。</p>

- ①単元名(教材名) 漢字1 漢字の組み立てと部首 漢字に親しもう1
 ②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○主体的に学習に取り組む態度

③概ね満足な姿(B規準)

小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。

- ①単元名(教材名) 楷書の書き方を確かめよう

- ②主な評価の観点 ◎知識・技能

③概ね満足な姿(B規準)

○点画の書き方と字形の整え方を理解して書いている○仮名の書き方や字形の特徴を理解して書いている。○文字の大きさや配列の整え方を理解して書いている。○情報を整理するための工夫を理解して書いている。

- 6月 ①単元名(教材名) ダイコンは大きな根?

- ②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○知識・技能

③概ね満足な姿(B規準)

「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。

- ①単元名(教材名) ちょっと立ち止まって

- ②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○知識・技能

③概ね満足な姿(B規準)

「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。

- ①単元名(教材名) 思考のレッスン1 意見と根拠

- ②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○主体的に学習に取り組む態度

③概ね満足な姿(B規準)

原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。

- ①単元名(教材名) 話の構成を工夫しよう 好きなことをスピーチで紹介する

- ②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○知識・技能

③概ね満足な姿(B規準)

「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。「話すこと・聞くこと」において、自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えている。

- ①単元名(教材名) 漢字に親しもう2

- ②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○主体的に学習に取り組む態度

③概ね満足な姿(B規準)

小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。

- 7月 ①単元名(教材名) 文法への扉1 言葉のまとまりを考えよう

- ②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○主体的に学習に取り組む態度

③概ね満足な姿(B規準)

単語の類別について理解している。

<p>①単元名(教材名) 情報を集めよう 情報を読み取ろう 情報を引用しよう</p> <p>②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿(B規準) 「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。</p>
<p>①単元名(教材名) 詩の世界 [書く] 詩を作ろう</p> <p>②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿(B規準) 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。「書くこと」において、根拠を明確にしなから、自分の考えか伝わる文章になるように工夫している。</p>
<p>①単元名(教材名) 比喻で広がる言葉の世界</p> <p>②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿(B規準) 「読むこと」において、文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。</p>
<p>①単元名(教材名) 言葉1 指示する語句と接続する語句</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○主体的に学習に取り組む態度</p> <p>③概ね満足な姿(B規準) 指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。</p>
<p>①単元名(教材名) 言葉を集めよう もっと「伝わる」表現を目ざして</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○主体的に学習に取り組む態度</p> <p>③概ね満足な姿(B規準) 事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p>
<p>①単元名(教材名) 読書を楽しむ</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○主体的に学習に取り組む態度</p> <p>③概ね満足な姿(B規準) 読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。</p>
<p>①単元名(教材名) 本の中の中学生</p> <p>②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿(B規準) 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。</p>

3 年間指導計画（その②）

8月	<p>①単元名(教材名) 大人になれなかった弟たちに……</p> <p>②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿(B規準) 「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。</p>
9月	<p>①単元名(教材名) 星の花が降るころに</p> <p>②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿(B規準) 「読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈している。</p> <p>①単元名(教材名) 聞き上手になろう 質問で話を引き出す</p> <p>②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿(B規準) 「話すこと・聞くこと」において、必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめている。</p> <p>①単元名(教材名) 項目を立てて書こう 案内文を書く</p> <p>②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿(B規準) 「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。</p> <p>①単元名(教材名) [推敲] 読み手の立場に立つ</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○主体的に学習に取り組む態度</p> <p>③概ね満足な姿(B規準) 「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述のしかたなどを確かめて、文章を整えている。</p> <p>①単元名(教材名) [生活に広げよう] 案内の手紙を書こう</p> <p>②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度</p> <p>③概ね満足な姿(B規準) ○案内の手紙を書くときに既習事項をどのように生かすか考えている。</p>
10月	<p>①単元名(教材名) 言葉2 方言と共通語</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○主体的に学習に取り組む態度</p> <p>③概ね満足な姿(B規準) 今までの学習を生かして、積極的に共通語と方言の果たす役割について理解しようとしている。</p> <p>①単元名(教材名) 「言葉」をもつ鳥, シジュウカラ</p> <p>②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿(B規準) 「読むこと」において、文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えている。</p>

	<p>①単元名(教材名) 思考のレッスン2 原因と結果</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○主体的に学習に取り組む態度</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>原因と結果,意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。</p>
	<p>①単元名(教材名) 根拠を示して説明しよう 資料を引用してレポートを書く</p> <p>②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>「書くこと」において,書く内容の中心が明確になるように,段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。「書くこと」において,根拠を明確にしなが,自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。</p>
	<p>①単元名(教材名) 行書の書き方を学ぼう</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>○行書を書くときの特徴的な動きを理解して書いている。○行書の点画の連続について,書く動きと連続の仕方を理解して書いている。○行書の点画の変化について,書く動きと変化の仕方を理解して書いている。</p>
	<p>①単元名(教材名) 漢字に親しもう3</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○主体的に学習に取り組む態度</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え,その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また,学年別漢字配当表の漢字のうち300字程度の漢字を書き,これは文章の書き方について</p>
	<p>①単元名(教材名) [話し合い] 話し合いの展開を捉える</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○主体的に学習に取り組む態度</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。</p>
11月	<p>①単元名(教材名) 話題や展開を捉えて話し合おう グループ・ディスカッションをする</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○主体的に学習に取り組む態度</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。</p>
	<p>①単元名(教材名) 音読を楽しもう 大阿蘇</p> <p>②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>「読むこと」において,文章の構成や展開,表現の効果について,根拠を明確にして考えている。</p>
	<p>①単元名(教材名) 音読を楽しもう いろは歌 古典の世界</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○主体的に学習に取り組む態度</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り,古文を音読し,古典特有のリズムを通して,古典の世界に親しんでいる。古典にはさまざまな種類の作品があることを知っている。</p>

①単元名(教材名)	蓬萊の玉の枝 ――「竹取物語」から
②主な評価の観点	◎思考・判断・表現 ○知識・技能
③概ね満足な姿(B規準)	「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。
①単元名(教材名)	今に生きる言葉
②主な評価の観点	◎知識・技能 ○主体的に学習に取り組む態度
③概ね満足な姿(B規準)	音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。

3 年間指導計画(その③)

12月	<p>①単元名(教材名) 「不便」の価値を見つめ直す</p> <p>②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿(B規準) 「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。</p> <p>①単元名(教材名) 助言を自分の文章に生かそう 作品の書評を書く</p> <p>②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿(B規準) 「書くこと」において、根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。</p> <p>①単元名(教材名) 漢字に親しもう4</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○主体的に学習に取り組む態度</p> <p>③概ね満足な姿(B規準) 小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を</p> <p>①単元名(教材名) 文法への扉2 言葉の関係を考えよう</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○主体的に学習に取り組む態度</p> <p>③概ね満足な姿(B規準) 単語の類別について理解している。</p> <p>①単元名(教材名) 行書のまとめ 年賀状を書こう</p> <p>②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度</p> <p>③概ね満足な姿(B規準) ○年賀状を書くときに、既習事項をどのように生かすか考えている。</p>
1月	<p>①単元名(教材名) 考える人になろう 君たちはどう生きるか たのしい制約</p> <p>②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿(B規準) 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。</p>

	<p>①単元名(教材名) 少年の日の思い出</p> <p>②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿(B規準) ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。</p> <p>①単元名(教材名) 漢字に親しもう5</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○主体的に学習に取り組む態度</p> <p>③概ね満足な姿(B規準) 小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。</p> <p>①単元名(教材名) [文字のいずみ] 書き初めをしよう</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿(B規準) ○これまでの学習を理解して書き初めを書いている。</p>
2月	<p>①単元名(教材名) 文法への扉3 単語の性質を見つけよう</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○主体的に学習に取り組む態度</p> <p>③概ね満足な姿(B規準) 単語の類別について理解している。</p> <p>①単元名(教材名) 随筆二編</p> <p>②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿(B規準) 「読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈している。</p> <p>①単元名(教材名) 構成や描写を工夫して書こう 体験を基に随筆を書く</p> <p>②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿(B規準) 「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。「書くこと」において、根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。</p>
3月	<p>①単元名(教材名) 言葉3 さまざまな表現技法</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○主体的に学習に取り組む態度</p> <p>③概ね満足な姿(B規準) 比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。</p> <p>①単元名(教材名) 一年間の学びを振り返ろう</p> <p>②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿(B規準) 「話すこと・聞くこと」において、相手の反応を踏まえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。</p> <p>①単元名(教材名) さくらの はなびら</p> <p>②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿(B規準) 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。</p>

令和6年度 浦西中学校 各教科シラバス

学 年	2年	教科名	国語
教科担当	川合雅子、知名利佳		
教科書名	国語2（光村図書）		
副教材	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい国語のワーク ・国語活用資料集 		

「シラバス」とは、各教科の授業内容や学習の方法、評価の方法などを記した総合的な学習計画のことです。浦西中学校の「シラバス」は、生徒の皆さんが1年間、何を学び、どのように学習を進めていくかを示すことで、見通しを持って、計画的・主体的に授業に取り組めることをねらいとして作成しています。

また、各教科の評価の観点も3観点としてシラバスに示してあります。

I「知識・技能」…各教科等で、学習する過程で身に付けた知識や技能の習得状況について評価を行います。また、それらを既に身に付けている知識や技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に、概念として理解したり技能を習得したりしているかについて評価を行います。

II「思考・判断・表現」…各教科等の知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身に付けているかを評価します。

III「主体的に学習に取り組む態度」…知識や技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みの中で、自ら学習を調整しようとしているかを評価します。

生徒の皆さんは、各教科の授業における「学び」が実生活とつながっていることを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得」ができるよう努力してください。さらに「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を活用する活動(思考・判断・表現等)」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「主体的に学ぶ力(=学びに向かう力)」を育成することにつながります。

1 (国語) 科の目標と評価について

目 標	<p>(1) 目的や場面に応じ、社会生活にかかわることなどについて相手や場に応じて話す能力、表現の工夫を評価して聞く能力、課題の解決に向けて話し合う能力を身に付けさせるとともに、話したり聞いたりして考えを深めようとする態度を育てる。</p> <p>(2) 目的や意図に応じ、社会生活にかかわることなどについて、論理の展開を工夫して書く能力を身に付けさせるとともに、文章を書いて考えを深めようとする態度を育てる。</p> <p>(3) 目的や意図に応じ、文章の展開や表現の仕方などを評価しながら読む能力を身に付けさせるとともに、読書を通して自己を向上させようとする態度を育てる。</p>
観 点	<p>(知識・技能)○言葉の働きに気づいたり、言葉の種類ごとの特徴について理解したりしている。○意見と根拠、具体と抽象など、情報と情報の関係について理解している。○現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方をすることができる。○学習した常用漢字を読むこと、また学年別漢字配当表に記されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。</p> <p>(思考・表現・判断)○自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫することができる。○表現の仕方や適切な資料の引用などを考え、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるよう工夫できる。○読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えることができる。○目的に応じて情報を整理しながら情報を得たり、登場人物の言動の意味について考えたりして、内容を解釈できる。</p> <p>(主体的に学習に取り組む態度)○知識技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力を身につけたりすることに、粘り強く取り組んでいる。○粘り強い取り組みの中で、見通しを立てたり振り返ったりして、自らの学習を調整している。○言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを確かなものにしたりしながら、主体的に学習に取り組んでいる。</p>
方 法	<p>1 授業中の態度や参加の様子</p> <p>2 ノート・ワーク・レポート・作品などの提出物</p> <p>3 定期テスト</p> <p>4 単元テスト、小テスト、作文、スピーチ、朗読など</p>

	<p>①広がる学びへ（多様な方法で情報を集めよう 職業ガイドを作る）</p> <p>②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿（B規準）</p> <p>目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。（思・判・表B(1)ア）</p>
	<p>①広がる学びへ（漢字I 熟語の構成 漢字に親しもう1）</p> <p>②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度</p> <p>③概ね満足な姿（B規準）</p> <p>第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。（知・技(1)ウ）</p>
6月	<p>①多様な視点から（クマゼミ増加の原因を探る）</p> <p>②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿（B規準）</p> <p>文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係などを捉えることができる。（思・判・表C(1)ア）</p> <p>文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することができる。（思・判・表C(1)ウ）</p>
	<p>①多様な視点から（思考のレッスンI 具体と抽象）</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○主体的に学習に取り組む態度</p> <p>③概ね満足な姿（B規準）</p> <p>意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。（知・技(2)ア）</p>
	<p>①多様な視点から（魅力的な提案をしよう 資料を示してプレゼンテーションをする）</p> <p>②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿（B規準）</p> <p>自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫することができる。（思・判・表A(1)イ）</p> <p>資料や機器を用いるなどして、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫することができる。（思・判・表A(1)ウ）</p> <p>意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。（知・技(2)ア）</p>
	<p>①多様な視点から（漢字に親しもう2）</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○主体的に学習に取り組む態度</p> <p>③概ね満足な姿（B規準）</p> <p>◎第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。（知・技(1)ウ）</p>

	①多様な視点から(文法への扉 単語をどう分ける?) ②主な評価の観点 ㊦知識・技能 ㊧主体的に学習に取り組む態度 ③概ね満足な姿(B規準) 単語の活用,助詞や助動詞などの働き,文の成分の順序や照応など文の構成について理解することができる。(知・技(1)オ)
	①情報社会を生きる(メディアを比べよう・メディアの特徴を生かして情報を集めよう) ②主な評価の観点 ㊦知識・技能 ㊨思考・判断・表現 ③概ね満足な姿(B規準) 情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ)
7月	①言葉と向き合う(短歌に親しむ・短歌に味わう) ②主な評価の観点 ㊨思考・判断・表現 ㊦知識・技能 ③概ね満足な姿(B規準) 観点を明確にして短歌を比較するなどし,短歌の構成や表現の効果について考えることができる。(思・判・表C(1)エ) 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け,自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(思・判・表C(1)オ) 表現の効果を考えて描写するなど,自分の考えが伝わる短歌になるように工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ)
	①言葉と向き合う(言葉の力) ②主な評価の観点 ㊨思考・判断・表現 ㊦知識・技能 ③概ね満足な姿(B規準) 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け,自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(思・判・表C(1)オ)
	①言葉と向き合う(言葉 類義語・対義語・多義語) ②主な評価の観点 ㊦知識・技能 ㊧主体的に学習に取り組む態度 ③概ね満足な姿(B規準) 抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに,類義語と対義語,同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し,話や文章の中で使うことを通して,語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)エ)
	①読書生活を豊かに(読書を楽しむ) ②主な評価の観点 ㊦知識・技能 ㊨思考・判断・表現 ③概ね満足な姿(B規準) 本や文章などには,さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り,自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすことができる。(知・技(3)エ)

<p>①読書生活を豊かに(翻訳作品を読み比べよう 星の王子さま)</p> <p>②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考えることができる。(思・判・表C(1)エ)</p> <p>文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(思・判・表C(1)オ)</p>
<p>①点画の省略〈桜色〉 p.50-51 【用具】毛筆・鉛筆</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>行書の点画の省略について、書く動きと省略の仕方を理解して書いている。(3)ウ(ア)</p>
<p>①筆順の変化〈若緑〉 p.52-53 【用具】毛筆・鉛筆</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>行書の筆順の変化について、書く動きと変化の仕方を理解して書いている。</p> <p>行書の点画の省略と筆順の変化を理解して書いている。(3)ウ</p>

3 年間指導計画(その②)

9月	<p>①人間のきずな(盆土産)</p> <p>②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈することができる。(思・判・表C(1)イ)</p>
	<p>①人間のきずな(字のない葉書)</p> <p>②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考えることができる。(思・判・表C(1)エ)</p>
	<p>①人間のきずな(聞き上手になろう 質問で思いや考えを引き出す)</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア)</p>
	<p>①人間のきずな(表現を工夫して書こう 手紙や電子メールを書く)</p> <p>②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ)</p>

	<p>①人間のきずな([推敲]表現の効果を考える)</p> <p>②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えることができる。(思・判・表B(1)エ)</p>
	<p>①人間のきずな(言葉2 敬語)</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○主体的に学習に取り組む態度</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使うことができる。(知・技(1)カ)</p>
10月	<p>①人間のきずな(漢字2 同じ訓・同じ音をもつ漢字 漢字に親しもう3)</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○主体的に学習に取り組む態度</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)ウ)</p> <p>抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)エ)</p>
	<p>①論理を捉えて(モアイは語るー地球の未来)</p> <p>②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>文章の構成や論理の展開について考えることができる。(思・判・表C(1)エ)</p> <p>文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(思・判・表C(1)オ)</p>
	<p>①論理を捉えて(思考のレッスン)</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○主体的に学習に取り組む態度</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア)</p>
	<p>①論理を捉えて(根拠の適切さを考えて書こう 意見文を書く)</p> <p>②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ)</p>
	<p>①論理を捉えて(漢字に親しもう4)</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○主体的に学習に取り組む態度</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)ウ)</p>

	<p>①論理を捉えて（〔討論〕異なる立場から考える）</p> <p>②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿（B規準）</p> <p>互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることができる。（思・判・表A(1)オ）</p>
	<p>①論理を捉えて（立場を尊重して話し合おう 討論で多角的に検討する）</p> <p>②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿（B規準）</p> <p>目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。（思・判・表A(1)ア）</p>
11月	<p>①論理を捉えて（音読を楽しもう 月夜の浜辺）</p> <p>②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿（B規準）</p> <p>詩の構成や表現の効果について考えることができる。（思・判・表C(1)エ）</p>
	<p>①いにしへの心を訪ねる（源氏と平家 音読を楽しもう 平家物語）</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○主体的に学習に取り組む態度</p> <p>③概ね満足な姿（B規準）</p> <p>作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しむことができる。（知・技(3) ア） 現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を 知ることができる。（知・技(3)イ）</p>
	<p>①いにしへの心を訪ねる（扇の的―「平家物語」から）</p> <p>②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿（B規準）</p> <p>登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈することができる。（思・判・表C(1)イ）</p>
	<p>①いにしへの心を訪ねる（仁和寺にある法師―「徒然草」から）</p> <p>②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿（B規準）</p> <p>文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深め たりすることができる。（思・判・表C(1)オ）</p>
12月	<p>①価値を語る（君は「最後の晚餐」を知っているか）</p> <p>②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿（B規準）</p> <p>目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈することができる。 （思・判・表C(1)イ）</p>

①価値を語る(魅力を効果的に伝えよう 鑑賞文を書く)

②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○知識・技能

③概ね満足な姿(B規準)

根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり,表現の効果を考えて描写したりするなど,自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ)
表現の工夫とその効果などについて,読み手からの助言などを踏まえ,自分の文章のよい点や改善点を見いだすことができる。(思・判・表B(1)オ)

①価値を語る(漢字に親しもう5)

②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○主体的に学習に取り組む態度

③概ね満足な姿(B規準)

第1学年までに学習した常用漢字に加え,その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むことができる。また,学年別漢字配当表に示されている漢字を書き,文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)ウ)

①価値を語る(文法への扉2 走る。走らない。走ろうよ。)

②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○主体的に学習に取り組む態度

③概ね満足な姿(B規準)

単語の活用,助詞や助動詞などの働き,文の成分の順序や照応など文の構成について理解することができる。(知・技(1)オ)

①読書に親しむ(研究の現場へようこそ 日本に野生のゾウやサイがいた頃・クモの糸でバイオリン・読書案内 ほんの世界を広げよう)

②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○知識・技能

③概ね満足な姿(B規準)

文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け,自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(思・判・表C(1)オ)

①行書と仮名の調和 <豊かな自然> p.56-57 【用具】毛筆・鉛筆

②主な評価の観点 ◎知識・技能

③概ね満足な姿(B規準)

○行書と平仮名の調和のさせ方を理解して書いている。(3)ウ(ア)

①行書に調和する仮名 <五十音表> p.58-60 【用具】毛筆・鉛筆

②主な評価の観点 ◎知識・技能

③概ね満足な姿(B規準)

行書に調和する仮名の特徴を理解して書いている。(3)ウ(ア)

①文字の大きさと配列 <草山に馬放ちけり秋の空> p.62-63

【用具】毛筆・鉛筆
②主な評価の観点 ◎知識・技能

③概ね満足な姿(B規準)

行書の配列を整える方法を理解して書いている。(3)ウ(ア)

	<p>①[生活に広げよう] 本のポップを書こう p.64-65 【用具】筆ペン・ペン</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○主体的に学習に取り組む態度</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>ポップを書くときに、既習事項をどのように生かすか考えている。【態】 既習事項を生かして、進んで、内容が効果的に伝わるポップを書こうとしている。(3)ウ(イ)</p>
--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3 年間指導計画 (その③)

1月	<p>①表現を見つめる(走れメロス)</p> <p>②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈することができる。(思・判・表C(1)イ)</p> <p>文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深め</p> <p>①表現を見つめる(漢字に親しもう6)</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○主体的に学習に取り組む態度</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)ウ)</p>
	<p>①表現を見つめる(文法への扉3 一字違いで大違い)</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○主体的に学習に取り組む態度</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)ウ)</p>
2月	<p>①表現を見つめる(構成や展開を工夫して書こう「ある日の自分」の物語を書く)</p> <p>②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫することができる。(思・判・表B(1)イ)</p>
	<p>①表現を見つめる(言葉3 話し言葉と書き言葉)</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○主体的に学習に取り組む態度</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>話し言葉と書き言葉の特徴について理解することができる。(知・技(1)イ)</p>
	<p>①表現を見つめる(漢字3 送り仮名)</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○主体的に学習に取り組む態度</p> <p>③概ね満足な姿(B規準)</p> <p>第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)ウ)</p>

3月	①国語の学びを振り返ろう ②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○知識・技能 ③概ね満足な姿(B規準) 互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることができる。 (思・判・表A(1)オ)
	①表現を見つめる(木) ②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○知識・技能 ③概ね満足な姿(B規準) 詩を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたり することができる。(思・判・表C(1)オ)
	①表現を見つめる(木) ②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○知識・技能 ③概ね満足な姿(B規準) 詩を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたり することができる。(思・判・表C(1)オ)
	①表現を見つめる(学習を振り返ろう) ②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○知識・技能 ③概ね満足な姿(B規準) 「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定のしかたなど を捉えている。(C(1)ア)
	①楷書と行書の使い分け p.66-67【用具】ペン・鉛筆 ②主な評価の観点 ◎知識・技能 ③概ね満足な姿(B規準) 楷書と行書を使い分ける観点について理解している。(3)ウ(イ)
	①場面や目的に応じた書き方 p.68-69【用具】毛筆・ペンなど ②主な評価の観点 ◎知識・技能 ③概ね満足な姿(B規準) 場面や目的に応じた書き方を理解して書いている。(3)ウ(イ) 行書に調和する仮名の書き方と配列を理解して書いている。
	①[文字のいづみ] 書き初めをしよう<感謝する心><信念を貫く><最善を尽くす><平和の祈り> p.74,101-104 【用具】毛筆 ②主な評価の観点 ◎知識・技能 ③概ね満足な姿(B規準) ○これまでの学習を理解して書き初めを書いている。(3)ウ(ア)・(イ)
	①[生活に広げよう] 防災訓練に参加しよう p.75-77【用具】鉛筆・ペン・毛筆 [文字のいづみ] 書いて味わおう「平家物語」 p.78【用具】鉛筆 ②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度 ③概ね満足な姿(B規準) 場面や目的に応じて既習事項をどのように生かすか考えている。【態】 既習事項を生かして、進んで、目的や場面に合った文字を書こうとしている。(3)ウ(ア)・(イ)

令和6年度 浦西中学校 各教科シラバス

学 年	3年	教科名	国語
教科担当	山里昌平		
教科書名	国語3（光村図書）		
副教材	・新しい国語のワーク3 ・国語活用資料集		

「シラバス」とは、各教科の授業内容や学習の方法、評価の方法などを記した総合的な学習計画のことです。浦西中学校の「シラバス」は、生徒の皆さんが1年間、何を学び、どのように学習を進めていくかを示すことで、見通しを持って、計画的・主体的に授業に取り組めることをねらいとして作成しています。

また、各教科の評価の観点から3観点としてシラバスに示してあります。

I「知識・技能」…各教科等で、学習する過程で身に付けた知識や技能の習得状況について評価を行います。また、それらを既に身に付けている知識や技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に、概念として理解したり技能を習得したりしているかについて評価を行います。

II「思考・判断・表現」…各教科等の知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身に付けているかを評価します。

III「主体的に学習に取り組む態度」…知識や技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力を身に付けたりすることにに向けた粘り強い取り組みの中で、自ら学習を調整しようとしているかを評価します。

生徒の皆さんは、各教科の授業における「学び」が実生活とつながっているということを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得」ができるよう努力してください。さらに「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を活用する活動(思考・判断・表現等)」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「主体的に学ぶ力(=学びに向かう力)」を育成することにつながります。

1 (国語)科の目標と評価について

教科の目標	<p>(1) 目的や場面に応じ、日常生活にかかわることなどについて構成を工夫して話す能力、話し手の意図を考えながら聞く能力、話題や方向をとらえて話し合う能力を身に付けさせるとともに、話したり聞いたりして考えをまとめようとする態度を育てる。</p> <p>(2) 目的や意図に応じ、日常生活にかかわることなどについて、構成を考えて的確に書く能力を身に付けさせるとともに、進んで文章を書いて考えをまとめようとする態度を育てる。</p> <p>(3) 目的や意図に応じ、様々な本や文章などを読み、内容や要旨を的確にとらえる能力を身に付けさせるとともに、読書を通してものの見方や考え方を広げようとする態度を育てる。</p>
評価の観点	<p>(知識・技能)○言葉の働きに気づいたり、言葉の種類ごとの特徴について理解したりしている。○意見と根拠、具体と抽象など、情報と情報の関係について理解している。○現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知らることができる。○学習した常用漢字を読むこと、また学年別漢字配当表に記されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。</p> <p>(思考・表現・判断)○自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫することができる。○表現の仕方や適切な資料の引用などを考え、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるよう工夫できる。○読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えることができる。○目的に応じて情報を整理しながら情報を得たり、登場人物の言動の意味について考えたりして、内容を解釈できる。</p> <p>(主体的に学習に取り組む態度)○知識技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力を身につけたりすることに、粘り強く取り組んでいる。○粘り強い取り組みの中で、見通しを立てたり振り返ったりして、自らの学習を調整している。○言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを確かなものにしたりしながら、主体的に学習に取り組んでいる。</p>
評価方法	<p>1 授業中の態度や参加の様子</p> <p>2 ノート・ワーク・レポート・作品などの提出物</p> <p>3 定期テスト</p> <p>4 単元テスト、小テスト、作文、スピーチ、朗読など</p>

2 (国語)科の学習について

進授業方の	<p>★授業の流れは①めあての提示②課題に向き合う場面(交流)③まとめ・振り返りの流れで進めていきます。「言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力」をつけるために、(1)自分の意見を持って積極的に表現しましょう。(2)友達との交流を通して、自分の意見考えを深めましょう。(3)授業中の大事なところはメモを取り、ノートは「自分の参考書」にしましょう。(4)自分の考えを発表したり書いたりする習慣を身につけましょう。(5)読書の習慣、こまめに辞書を引く習慣を身につけましょう。</p>
-------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

テ 定 期 ト	<p>○教科書ならびに副教材を使用して学習した授業の内容を中心に出题します。</p> <p>○テストに際しては、教科書の説明で使用了プリントや資料集、デジタルコンテンツなどについても出题します。</p> <p>○「知識・技能」、「思考・判断・表現」の2つの観点に分けて出题します。</p> <p>○テスト範囲は、テストの約1週間前に連絡します。</p>
------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3 年間指導計画（その①）

4月	<p>①単元名(教材名) 世界はうつくしいと</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○主体的に学習に取り組む態度</p> <p>③概ね満足な姿(B規準) 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 (C(1)イ)</p> <p>①単元名(教材名) 握手</p> <p>②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿(B規準) ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、物語の展開のしかたなどを捉えようとしている。(C(1)ア) ・「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えようとしている。(C(1)イ)</p> <p>①単元名(教材名) [聞く] 評価しながら聞く</p> <p>②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度</p> <p>③概ね満足な姿(B規準) ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現のしかたを評価して、自分の考えを広げたり深めたりしている。(A(1)エ)</p>
5月	<p>①単元名(教材名) 学びて時に之を習ふ——「論語」から</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○思考・判断・表現</p> <p>③概ね満足な姿(B規準) 歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。(C(3)ア)</p> <p>①単元名(教材名) 情報整理のレッスン 情報の信頼性</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○主体的に学習に取り組む態度</p> <p>③概ね満足な姿(B規準) 情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。(C(2)イ)</p> <p>①単元名(教材名) 文章の種類を選んで書こう 修学旅行記を編集する</p> <p>②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度</p> <p>③概ね満足な姿(B規準) ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ・「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。(B(1)イ)</p>

①単元名(教材名) 漢字1 熟語の読み方 漢字に親しもう1
②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○主体的に学習に取り組む態度
③概ね満足な姿(B規準)
第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。(1)ア)

①単元名(教材名) 作られた「物語」を超えて
②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○知識・技能
③概ね満足な姿(B規準)
・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理の展開のしかたなどを捉えている。(C(1)ア)
・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて評価している。(C(1)ウ)

6月

①単元名(教材名) 思考のレッスン 具体化・抽象化
②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○主体的に学習に取り組む態度
③概ね満足な姿(B規準)
具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア)

①単元名(教材名) 説得力のある構成を考えよう スピーチで社会に思いを届ける
②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度
③概ね満足な姿(B規準)
・「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア)
・「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫している。(A(1)イ)

①単元名(教材名) 漢字に親しもう2
②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○主体的に学習に取り組む態度
③概ね満足な姿(B規準)
第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。(1)ア)

①単元名(教材名) 文法への扉1 すいかは幾つ必要?
②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○主体的に学習に取り組む態度
③概ね満足な姿(B規準)
】単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解するとともに、話や文章の構成や展開について理解を深めている。(2年(1)オ)

①単元名(教材名) 実用的な文章を読もう 報道文を比較して読もう
②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○知識・技能
③概ね満足な姿(B規準)
・「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(C(1)イ)
・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて評価している。(C(1)ウ)
・「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)

7月 ①単元名(教材名) 俳句の可能性 俳句を味わう

②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○知識・技能

③概ね満足な姿(B規準)

・「読むこと」において、文章の構成や表現のしかたについて評価している。(C(1)ウ)

・「書くこと」において、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。(B(1)イ)

①単元名(教材名) 言葉を選ぼう もっと「伝わる」表現を旨として

②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○主体的に学習に取り組む態度

③概ね満足な姿(B規準)

時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解している。((3)ウ)

①単元名(教材名) 言葉を選ぼう もっと「伝わる」表現を旨として

②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○主体的に学習に取り組む態度

③概ね満足な姿(B規準)

時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解している。((3)ウ)

①単元名(教材名) 言葉1 和語・漢語・外来語

②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○主体的に学習に取り組む態度

③概ね満足な姿(B規準)

理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)イ)

①単元名(教材名) 読書を楽しむ

②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○主体的に学習に取り組む態度

③概ね満足な姿(B規準)

自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。((3)オ)

①単元名(教材名) 「私の一冊」を探しにいこう 羊と鋼の森
読書案内 本の世界を広げよう
読書コラム ためになるってどんなこと？

②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○知識・技能

③概ね満足な姿(B規準)

「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ)

①単元名(教材名) 身の回りの文字の目的と工夫

②主な評価の観点 ◎知識・技能

③概ね満足な姿(B規準)

・身の回りの文字には、目的に応じた工夫がされていることを理解している。

3 年間指導計画（その②）

8月	<p>①単元名(教材名) 挨拶 ――原爆の写真によせて</p> <p>②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿(B規準) ・「読むこと」において、詩の構成や表現のしかたについて評価している。(C(1)ウ) ・「読むこと」において、詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ)</p> <p>①単元名(教材名) 故郷</p> <p>②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿(B規準) ・「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(C(1)イ) ・「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ)</p> <p>①単元名(教材名) 手書き文字の特徴</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○思考・判断・表現</p> <p>③概ね満足な姿(B規準) ・文字は、書き手の意図に応じて効果的に書かれていることを理解している。</p>
9月	<p>①単元名(教材名) 聞き上手になろう 質問で相手の思いに迫る</p> <p>②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度</p> <p>③概ね満足な姿(B規準) 「話すこと・聞くこと」において、話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現のしかたを評価して、自分の考えを広げたり深めたりしている。(A(1)エ)</p> <p>①単元名(教材名) [推敲]論理の展開を整える</p> <p>②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○知識・技能</p> <p>③概ね満足な姿(B規準) 「書くこと」において、目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整えている。(B(1)エ)</p> <p>①単元名(教材名) 言葉2 慣用句・ことわざ・故事成語</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○主体的に学習に取り組む態度</p> <p>③概ね満足な姿(B規準) 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)イ)</p> <p>①単元名(教材名) 漢字2 漢字の造語力 漢字に親しもう3</p> <p>②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○主体的に学習に取り組む態度</p> <p>③概ね満足な姿(B規準) 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。((1)ア)</p>

10月	①単元名(教材名) 人工知能との未来 人間と人工知能と創造性		
	②主な評価の観点	◎思考・判断・表現	○知識・技能
	③概ね満足な姿(B規準)		
	・「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(C(1)イ)		
	・「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ)		
	①単元名(教材名) 多角的に分析して書こう 説得力のある批評文を書く		
	②主な評価の観点	◎思考・判断・表現	○知識・技能
	③概ね満足な姿(B規準)		
	・「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。(B(1)イ)		
	・「書くこと」において、表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ)		
	①単元名(教材名) 漢字に親しもう 4		
	②主な評価の観点	◎知識・技能	○主体的に学習に取り組む態度
	③概ね満足な姿(B規準)		
	第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。((1)ア)		
	①単元名(教材名) [議論]話し合いを効果的に進める		
	②主な評価の観点	◎思考・判断・表現	○知識・技能
	③概ね満足な姿(B規準)		
	「話すこと・聞くこと」において、進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。(A(1)オ)		
	①単元名(教材名) 書き手の意図と表現		
	②主な評価の観点	◎知識・技能	○思考・判断・表現
	③概ね満足な姿(B規準)		
	・文字は、書き手の意図に応じて効果的に書かれていることを理解している。		
11月	①単元名(教材名) 音読を楽しもう 初恋		
	②主な評価の観点	◎思考・判断・表現	○知識・技能
	③概ね満足な姿(B規準)		
	「読むこと」において、詩の構成や展開、表現のしかたについて評価している。(C(1)ウ)		
	①単元名(教材名) 合意形成に向けて話し合おう 課題解決のために会議を開く		
	②主な評価の観点	◎思考・判断・表現	○知識・技能
	③概ね満足な姿(B規準)		
	「話すこと・聞くこと」において、進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。(A(1)オ)		

①単元名(教材名) 音読を楽しもう 初恋
 ②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○知識・技能
 ③概ね満足な姿(B規準)
 「読むこと」において、詩の構成や展開、表現のしかたについて評価している。(C(1)ウ)

①単元名(教材名) 和歌の世界 音読を楽しもう 古今和歌集 仮名序
 ②主な評価の観点 ◎主体的に学習に取り組む態度 ○知識・技能
 ③概ね満足な姿(B規準)
 進んで古典の世界に親しみ、今までの学習を生かして朗読しようとしている。

①単元名(教材名) 君待つと 一万葉・古今・新古今
 ②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○知識・技能
 ③概ね満足な姿(B規準)
 「読むこと」において、和歌の表現のしかたについて評価している。(C(1)ウ)

①単元名(教材名) 夏草——「おくのほそ道」から
 ②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○知識・技能
 ③概ね満足な姿(B規準)
 ・「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ)
 ・「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。(B(1)イ)

①単元名(教材名) 現代につながる文字の役割
 ②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○思考・判断・表現
 ③概ね満足な姿(B規準)
 ・歴史のなかで文字が果たしてきた役割を理解している

3 年間指導計画(その③)

12月 ①単元名(教材名) 誰かの代わりに
 ②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○知識・技能
 ③概ね満足な姿(B規準)
 「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ)

①単元名(教材名) 情報を読み取って文章を書こう グラフを基に小論文を書く
 ②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○知識・技能
 ③概ね満足な姿(B規準)
 「書くこと」において、論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(B(1)オ)

①単元名(教材名) 漢字3 漢字のまとめ 漢字に親しもう5
②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○主体的に学習に取り組む態度
③概ね満足な姿(B規準)
第2学年までに学習した常用漢字に加え,その他の常用漢字の大体を読んでいる。また,学年別漢字配当表に示されている漢字について,文や文章の中で使い慣れている。((1)ア)

①単元名(教材名) 文法への扉2 「ない」の違いがわからない?
②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○主体的に学習に取り組む態度
③概ね満足な姿(B規準)
単語の類別について理解するとともに,単語の活用,助詞や助動詞などの働きについて理解している。(1年(1)エ,2年(1)オ)

①単元名(教材名) 本は世界への扉 エルサルバドルの少女 ヘスース 紛争地の看護
②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○思考・判断・表現
③概ね満足な姿(B規準)
自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。((3)オ)

1月 ①単元名(教材名) [文字のいずみ] 書き初めをしよう
②主な評価の観点 ◎知識・技能
③概ね満足な姿(B規準)
・これまでの学習を理解して書き初めを書いている。

①単元名(教材名) 温かいスープ
②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○知識・技能
③概ね満足な姿(B規準)
「読むこと」において,詩を読んで考えを広げたり深めたりして,人間,社会,自然などについて,自分の意見をもっている。(C(1)エ)

①単元名(教材名) わたしを束ねないで
②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○知識・技能
③概ね満足な姿(B規準)
「読むこと」において,詩を読んで考えを広げたり深めたりして,人間,社会,自然などについて,自分の意見をもっている。(C(1)エ)

2月 ①単元名(教材名) 三年間の歩みを振り返ろう
②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○知識・技能
③概ね満足な姿(B規準)
・「話すこと・聞くこと」において,場の状況に応じて言葉を選ぶなど,自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。(A(1)ウ)

①単元名(教材名) 漢字に親しもう6
②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○主体的に学習に取り組む態度
③概ね満足な姿(B規準)
第2学年までに学習した常用漢字に加え,その他の常用漢字の大体を読んでいる。また,学年別漢字配当表に示されている漢字について,文や文章の中で使い慣れている。(知・技(1)ア)

①単元名(教材名) [生活に広げよう] 思いを文字で表そう
②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度
③概ね満足な姿(B規準)
・自分の思いを表現するために,既習事項をどのように生かすか考えている。

3月 ①単元名(教材名) 学習を振り返ろう
②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○思考・判断・表現
③概ね満足な姿(B規準)
・敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し,適切に使っている。((1)エ)
・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。((2)ア)
・時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解している。((3)ウ)
・自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。((3)オ)